

歩いてトイレに行く、晴れた日には散歩をする。この“歩く”ということは私たちの生活を成り立たせるための基本的な行為であり、健康な生活を維持することにもつながっています。障害がある方でも歩いて生活を送れるよう私たちは様々な補助具を活用して支援を行なっております。今回は当施設にて活用している歩行補助具を紹介致します。



歩行車 シンフォニー



U字歩行器



サニーウォーカー



4点杖



ピックアップ歩行器

■ ボランティア募集

当施設では各種ボランティアを募集しております。ジャンルは問いません。但し充足しているジャンルの場合や当施設の方針にそぐわない場合、必ずしもお受け出来ない場合もございます。まずは下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL : 0493-56-6123
担当者：鈴木 恵美子

■ 4月の趣味の教室

- 書道教室【大倉 佳子先生】
4月 8日(月)
4月 22日(月)
2階 13時30分～
- 折紙教室【田中 三枝子先生】
4月 3日(水)
2階 13時30分～
- 詩吟教室【佐藤 譲先生】
4月 17日(水)
2階 13時30分～
- 編物教室【梶谷 和子先生】
4月 9日(火)
4月 23日(火)
2階 13時30分～

■ 4月の行事予定

- 4月19日(金)
「嵐山オカリーナ」の皆様による
オカリーナの演奏会
2階 機能訓練室 13時30分～

■ 4月の定例催し物

- 音楽会 【宮岡 久美子様】
4月16日(火) 10時40分～ 2階
- 朗読 【関根 洋子様】【高橋 政子様】
【小川 かづ江様】【あすなる様】
4月 3日(水) 15時30分～ 2階
4月11日(木) 13時30分～ 2階
4月23日(火) 15時30分～ 2階
4月24日(水) 15時30分～ 3階

■ スタッフブログ

いづみケアセンターのホームページにスタッフブログがあります。広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等色々と載せています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care>

■ 編集後記

もうすぐ「平成」が終わります。平成のうちにやり残す事が無い様にして新しい時代を迎えたいですね。編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



巻頭言

「桜の花のように…」



入所課 係長
小川 恭子

通勤の途中に桜並木や桜のトンネルがあります。満開時には車を降り、桜を見上げ深呼吸をして桜のパワーを体内に取り入れ、「よし頑張ろう！」と再び車を走らせます。最近「身近にあるものからパワーをもらって生かされているんだ」と思うことが多々あり、そうした瞬間に幸せを感じています。私にパワーを与えてくれる全てのものに感謝の気持ちでいっぱいです。今年も桜の季節が巡って来ました。花便りで心弾む反面、今年に限って少し淋しい気持ちがあります。桜の便りが届くということは『平成』も残り僅かだからです。自然災害の多い時代ではありましたが、戦禍に巻き込まれることも無く、平和な30年だったのではないかと思います。『平成』という時代に感謝しながら、新しい時代を迎えたいと思います。

さて、いづみケアセンターも今年新たな未来への幕開けの年だと思っております。昨春の介護報酬改定に伴い、介護老人保健施設はより一層「在宅復帰施設・在宅生活支援施設」としての役割が求められることとなりました。利用者様・家族様にも深いご理解を賜り、その使命を果たすべく歩み始めております。地域から頼りにされる施設として全職員が何事にも責任感を持って取り組み、介護老人保健施設としての役割を果たしていきたいと思っております。

5月からは居室のリニューアル工事が始まります。完成が待ち遠しく楽しみではありますが、介護のプロとしてハードに負けない高い専門性こそが私共の神髄でもあります。そして6月には、介護福祉士を養成する専門学校から介護実習生を受け入れる予定です。介護現場の人手不足は年々深刻化しています。いづみケアセンターも例外ではありません。養成校の学生数が減少している中、当施設が実習施設に指定された意義は大きいと感じます。実習生を指導するにあたり、介護の仕事の魅力、素晴らしさ、やりがい、そして介護福祉士の役割をしっかりと伝えたいと思います。実習指導者の責任は重大ですが、いづみケアセンターと介護の世界の将来のために、覚悟を持ってこの責務を全うしたいと思います。

「桜はなぜ下を向いて咲くのか？。きっと春の訪れを皆に楽しんでもらおうと思って下を向いて咲くのだと思う。人間もそうあるべきじゃないか。」これは自然を相手に高品質の林檎を生産している栽培農家の方の言葉です。最後の“人間もそうあるべき”の部分に私も同じ思いを持ちました。自分のためではなく、人の幸せのためにどう生きるか……。利他の心で其々が使命を果たしてこそ、自身も豊かで幸福な人生へと導かれるのではないのでしょうか。桜の花は人々に笑顔、喜び、幸せを与えてくれますが、「私もかくありたい」との思いを胸に秘めつつ、利他の心と感謝の気持ちで一日一日を生きて参りたいと思います。

第1回地域の元気作り教室を開催しました

3月22日（金）に地域の皆様を対象に「地域の元気作り教室」を開催しました。理学療法士である戸坂心さんが講師となり、第一部は介護予防に関するお話、そして第二部は介護予防体操（いきいき百歳体操）を行いました。12名の地域の方々にご参加頂き、皆様からは「楽しかった」「良い時間だった」と嬉しいお言葉を頂戴しました。

今後当施設は定期的に元気作り教室を開催して参ります。毎回違った内容で皆様に有意義な時間を提供していきたいと思っております。そして一番は皆様が楽しんで頂ける会にしていきたいので、今後共宜しくお願い致します。



第一部 介護予防について



第二部 介護予防体操
いきいき百歳体操



カフェ&パンケーキで利用者様をおもてなし



前回とても好評だったカフェがバージョンアップして帰ってきました。今回は職員が正装してカフェの店員になり、コーヒーに加えてパンケーキをセットでご提供しました。コーヒーの良い香りと甘いパンケーキの香りがフロアに漂い、利用者の皆様にとっても喜んで頂きました。

福祉・医療関係者モニター会を開催しました



毎年ケアマネモニター会を開催しておりますが、今年は病院のソーシャルワーカーの方もお声掛けして、福祉・医療関係者モニター会を開催しました。合計13名の方に参加頂き、当施設が更に力を入れていく在宅復帰・在宅支援のご説明をさせて頂きました。ご参加頂き有難うございました。

通所課文化祭



毎年恒例となっている通所課文化祭「お茶の子彩祭」を開催しました。利用者様が一所懸命取り組まれた作品は、どれも個性がキラリと光ってとても素敵でした。早くも次の文化祭に向けて創作意欲を口にされている方もいらっしゃいました。

節分の日には鬼を退治しました



節分の日には豆まきを行いました。職員が鬼に仮装して登場！！「鬼は外！福は内！」と力いっぱい豆を投げる利用者様の姿と、あちこちで飛び交う豆はさながら運動会のような熱気とにぎわいを見せ、多くの掛け声と共に、沢山の福をいづみケアセンターに呼び込んでくれました。

愛情こもった手打ちうどん作り



3階1番館では手打ちうどんを作りました。生地を一所懸命に力を入れて丸め、足でも踏んで作りました。昔取った杵柄で昔話も弾み、とてもコシがある美味しい手打ちうどんが出来ました。